

特集

周産期 ボンディング障害を 知っていますか？

周産期ボンディングとは、母親（父親）の子どもに対する情緒的な絆のことを言い、アタッチメントとは相補的關係にあるものの、異なる概念です。欧米では 1990 年頃から研究・臨床での実践が行なわれてきましたが、近年になって日本においてもボンディングの概念が取り上げられるようになってきました。

子どもに対する愛情が湧かないといった事例で、ボンディングの観点から介入することが増えてきています。

周産期メンタルヘルスにおいて、ボンディング障害は産後うつと並ぶ極めて重要な課題と言えるでしょう。

本特集を通して、周産期ボンディングの基本的な知識・情報から、臨床での事例にどう対応していくのかまでを発展的に学んでいただければ幸いです。

